

第4学年図画工作科学習指導案

東京学芸大学附属世田谷小学校
武田 渉





単元名

「スペシャルな色紙で表そう」

ねらい

自分の表したいことに合わせて色紙を並べたり組み合わせたりし、楽しく空想の世界を表わそうとする。

展開

時間	子どもの活動	教師の支援
導入 10分	<p>○前時の確認</p> <p>T 前回の図画工作では3つの技を使って、スペシャルな色紙をつくる活動をしましたね。</p> <p>C ビー玉ころころ。</p> <p>C ストローふうふう。</p> <p>C あとは、紙ぺったん！</p> <p>○本時の課題をつかむ</p> <p>T 今日はこのスペシャルな色紙を切って、絵に表します。みなさんは、エリック・カールさんを知っていますか？</p> <p>C はらぺこあおむしの？</p> <p>C 他の絵本も読んだことあるよ。</p> <p>T 目の前の絵本の作者は、全部エリック・カールさんですね。</p> <p>T エリック・カールさんのようにスペシャルな色紙を使って、想像した物語を1枚の紙に表しましょう。</p>	<p>◇前時の活動でつくった複数の色紙を手元に置かせて、活動を思い出させる。</p>  <p>(←前時：ビー玉ころころの技！)</p> <p>◇エリック・カールの絵本を子どもの手に届く場所に置き、表現の特徴に気付かせたり、確かめさせたりする。</p> <p>◇コラージュしたことが明確に分かる部分を拡大してスクリーンに映し出し、刃物で切られた“感じ”を全員で確認する。</p>
展開 70分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> スペシャルな色紙を切って、想像した物語を表そう。 </div> <p>○スペシャルな色紙から、イメージに合うものを選び、切り貼りして表す。</p>   	<p>◇どんな物語を表現するか決まったら、台紙となる色紙を選ばせる。</p> <p>◇子どもによって、活動の進め方は様々である。地面を敷いて、その上に想像を広げていく子ども。登場人物を複数つくってから色画用紙上に並べる子ども…。それぞれに合った表し方を工夫できるような声がけする。</p> <p>◇「終わった」と言う子どもには、物語がより伝わるように、風景などを考えさせる。</p>
結末 10分	<p>○友達の物語を聞きに行く</p> <p>T 画用紙の上に、物語の1シーンが現れました。友達の物語がどんな物語なのか、聞き合いましょう。</p> <p>C ぼくは天使を表したよ。地球の危機を感じた天使が、神様に会いに行くよ。…(語り)…</p> <p>C 地球を助けるために飛んでいる場面だね。</p>	<p>◇教師も一緒になって、子どもたちの物語を聞く。</p> <p>◇ここではランダムに聞き合うことを想定しているが、実態に応じて、全員で一人の話をゆっくり聞くのもよい。</p>